

# 社長通信

株式会社 福島人材派遣センター  
代表取締役社長 安田 敬

2017年1・2月号

Vol.7



新年明けまして、おめでとうございます。  
本年もどうぞ宜しくお願い致します。  
皆様にとりまして飛躍の一年になりますよう、ご祈念申し上げます。

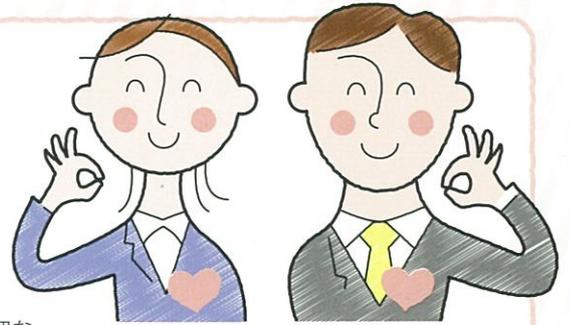
## 29年を迎えて

日頃は、弊社をお引き立ていただき心より感謝申し上げます。

一昨年は労働者派遣法の改正、昨年は会社創立30周年を迎えた節目の年でした。

今年は、来年4月1日に向けて労働契約法が、同9月30日に労働者派遣法が法施行され動き出す大切な年になります。

しっかりと舵取りをおこない、会社の方向性を皆様にお示し出来るよう精一杯努力をして参ります。



## イノベーションと変革

私は平成元年に弊社に入社以来、会社を取り巻く地域社会の皆様に変化が起きており、その時々社内、社外を問わず多くの皆様のお力添えをいただき参りました。20数年の間に社会も地域も大きく様変わりしましたが、お陰様でなんとか社業を続けることができました。

しかしながらこの先社会は急速な変化を迎え、特に今年は変革の元年と世界中のエコノミストや専門家からの声があがっております。イノベーションを起こす元年として変革の必要性を感じています。ステイブジョブズの言葉を借りれば、「**ハートと直感**」で時代を切り開きなさいということでしょうか。

## 総力戦の時代

これからの時代は100歳まで生きるこ

とを考えなさい。

今の10歳児は半数が100歳を超える人生をおくります。現在の40、50歳代は100歳までのライフプランをつくりなさい。様々な統計を基にした提言を良く耳にします。その中の代表格で、自民党若手議員の会が「人生100年時代」の社会保障改革の提言書を昨秋出しました。

日本は世界に誇る長寿国ですが、さらにそれが広がり今までのライフプランではまかなえない世の中になる。とてもセンセーショナルな内容ですが、提言書には100年型年金、健康ゴールド免許など、健康や長寿の為に自助努力や負担を促す具体策等が入り、ユニークで新鮮な内容でした。(朝日新聞1/17:15面参照)

働き方や医療、介護など踏み込まなくてはならない課題は多いですが、まずは自らできることを世代をまたいで真剣に考えていく、まさに**総力戦の時代**になると思います。

## 自由な働き方

100歳まで生きると仮定すれば、おそらく80歳近くまで現役世代と呼ばれ、就業年数は飛躍的に伸びるでしょう。子育てを終えた専業主婦(主夫)の方も40年近い就業が可能となります。第二の人生も第三、第四と伸びることも予想され人生の幅が大きくなるでしょう。この中で大切なのが、老後の不安を取り除く社会インフラ整備と共に最も大切なのが「**自由な働き方**」を社会が支持することではないかと考えます。

人材ビジネス業界は、複数職支援や年齢・経験に応じた「自由な働き方」支援に動く年かと感じております。皆さんとともに未来の働き方を考える一年としたいと思います。

### 福島 コラッセ登録センター

巡る出合いを丁寧に 笑顔あふれる一日で  
顧問 会田 央昭

還暦の年。第2の人生。新たなる自分発見へ  
飽くなき冒険。  
営業部長 兼 パブリックビジネス担当室長 土屋 良一

仕事もプライベートも全力投球。  
内面から輝ける女性になる!!  
事務担当マネージャー 渡部ひとみ

正確・丁寧・迅速  
コーディネーター 能正 愛

たくさんの人に会って笑顔を届けたいです!  
営業 担当 太宰 文恵

### 郡山 ビッグアイ登録センター

大切な事、大切な人、  
大切なものをもっと大切に  
営業副本部長 兼 郡山支社長 北浦 典子

日々自己研鑽に励み 人との取り込みを大切に!!  
室長 大柿 貞夫

相手にも自分にもおもしろいやりを持って、  
想いの見えるお仕事を!  
コーディネーター 高田 裕希

知行合一 学んだ事を実践する  
営業担当 澤井 仁

一つ一つを丁寧に確実に成し遂げたい  
コーディネーター 菊地かおり



## 今年の抱負・目標

叶えたいことを実現させるために、  
想像力と創造力を身につける  
コーディネーター 増子 綾子

仕事の知識を増やし精進いたします  
パブリックビジネス担当 佐藤 美枝

### スタッフご紹介キャンペーンの継続について

昨年よりおこなっております、登録スタッフのご紹介キャンペーンですが、現在も継続しておこなっております。

新年に入り、派遣事業、紹介事業とも多くの企業からオーダーを頂いており、人財のマッチングが難しくなっております。これから年度末に向けては益々人財の供給が増えて参ります。既存のご登録社員の皆様には、

是非お仕事をお探しのお知り合いのご紹介を宜しくお願い申し上げます。  
粗品等用意して皆様からご紹介をお待ちしております。



## 活動報告

### 取り組み その1

#### 能を楽しもう!

昨年12月11日、弊社が指定管理者をする福島市「草心苑」の自主事業として「能を楽しもう」が福島市こむこむ館にて開催されました。

幼稚園児から中学生までの子供たちと、能楽の鑑賞、ワークショップでの能面や楽器の体験を通じ、日本の伝統芸能に直接触れる貴重な機会を作ることができました。

今回、企画から運営、設営にご協力いただきました。宝生流能楽師の久貴弘能様ご夫妻、福島市の能楽愛好会「櫛会」(くぬぎかい) はじめ多くの皆様のお支えのもと無事事業を運営することができました。

厚く御礼を申し上げます。今後も「草心苑」を通して文化事業に取り組んで参りますので、皆様のご支援ご協力の程重ねてお願い申し上げます。



12月13日付 福島民友新聞掲載

### 取り組み その2

#### 「キャリアカウンセラー資格」 職員2名が取得!

弊社営業副本部長 兼 郡山支社長の北浦典子が、一般社団法人日本能力開発推進協会主催「キャリアカウンセラー資格」に見事一回目で合格致しました。

一昨年に取得したワークライフバランスカウンセラーと併せて二つの資格を取得致しました。また、同じく弊社福祉介護事業担当の佐藤美枝と進路アドバイザー 3名が「キャリアカウンセラー資格」を取得しております。

人生のキャリア形成を共に作りあげられる教育環境を社内で整えたいと考えております。今後社内の体制も強化して参りますので、弊社への益々のご支援ご協力の程、重ねて宜しくお願い申し上げます。



### 取り組み その3

#### 経営改革チャレンジ大賞を受賞!

リカちゃん人形やトランスフォーマーで一世を風靡したおもちゃの「タカラ」創業者の佐藤安太氏(福島県いわき市出身)が代表を務める佐藤安太経営実践塾にて、大賞を受賞致しましたのでご報告させていただきます。

昨年12月13日皆様を代表して千葉県流山市

生涯学習センターにて佐藤安太塾長より直接表彰を受けて参りました。

佐藤安太経営実践塾は、生き方を見直し7育(7つの生き方)を実践しながら、会社経営に良い影響を与えていく勉強会で、東京に約30名、福島に12名の仲間と共に毎月の勉強会、年2回の合同勉強会、年一回の研修旅行を行い日々研鑽に務めています。

このような中での大賞の受賞は、大きな喜びでありこれからの希望になりました。

皆様に頼られ、しっかりと応える会社を目指し、これからも日々研鑽して参ります。



### 取り組み その4

#### 平成29年度に向けて重点課題

1. キャリア支援の充実
2. 職業紹介事業の強化

こちらの二点を重点課題として取り組みます。

##### 1. キャリア形成支援

現在、eラーニングシステムの導入を検討しています。

自宅にいなから、いつでもネットでの教育訓練が可能で、採用機関、カリキュラムについ

て社内で検討しております。

来年度に向けて、本格稼働出来るよう現在準備を進めております。

4月以降改めてお知らせ申し上げます。

##### 2. 職業紹介事業の強化

現在、おこなっております有料職業紹介事業の一部を子会社のフクジンキャリアサポートに移管し、紹介事業の専門機関としての役割を検討しております。

現在も弊社でおこなっております、紹介予定

派遣事業や事務職を中心とした職業紹介事業は継続して行います。

フクジンキャリアサポートでは、エンジニア、生産管理、専門管理職、営業職、金融機関専門職など専門職に特化した紹介事業を新たにおこないます。

現在、私が昨秋より、同業の紹介事業者よりコンサルティングを受けておりました。事業化の目処が出てきております。

こちらも決まり次第、正式なご案内を申し上げます。

今、注目されている話題をご紹介します 人財ビジネス日記

## ≫講演会に参加しました

小松さんが、生涯に渡り多くのアスリートの取材を通じて感じた話題を一時間半に渡りお聞きすることができました。

小松さんが、初めてインタビューするときに心掛けているルーティーン(習慣)ですが先入観をすべてかき消して、インタビューされるそうです。そして、「世界で一番あなたを知りたいのは私です!!」と心に唱えるそうです。それまで膨大な情報を集め、覚え、知識を吸収して望むわけですが、敢

えて直前はすべての情報かき消してインタビューを始める。そうすると相手の真の姿を捉え、多くのアスリートの信頼を得ることが出来たとのことです。

私も職業柄多くの皆さんにお会いしますが、一番大切なルーティーンを忘れていたようです。

一昨年、ラグビー日本代表として活躍した五郎丸歩選手についてお話がありました。「不動の魂を得るために自らのルーティーン

を確立する。」自分自身の信念や目標を持った時、人は日常を超えた体力や精神を築くことが出来る。その努力をするなかで支えてくれるのが、ルーティーン(習慣)だと彼は説いています。

新年にあたり自分らしい「心がこもったルーティーン」を是非持ちたいと思いました。

講師 ノンフィクション作家 小松 成美氏  
演題 一流とは何か〜トップアスリートの真実〜  
著書 「五郎丸日記」「イチロー・オン・イチロー」「中田英寿 誇り」など多数

